

あいさつ

練馬区教育委員会
教育長 河 口 浩

今回の学習指導要領の改訂では、確かな学力を身に付けるために基礎的・基本的な知識・技能の習得、およびこれらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成が求められ、この目標を達成するための視点として、すべての教科等を通して言語活動の充実を図ることが明示されました。

これらのことを踏まえ、本校では平成２２・２３年度の２年間、練馬区教育委員会教育課題研究指定校として「学力向上を目指した学び合いのある授業の工夫 ～読書指導を基盤とした全教科の取組～」を研究主題とし、全教科等において授業改善に取り組んでおります。本校は、平成１６年度から学力向上を研究主題の核に据えた授業実践を継続し、学力の定着状況を検証するとともに、生徒による授業評価や、読書指導による読解力の向上を図る具体的な手だてを提案し、積極的に授業改善を進めてまいりました。今回の研究においては、学び合いの視点を研究要素として新たに加え、生徒の意見交流の場面等を授業に意図的に取り入れるなど、言語活動の充実を図りました。特に読書指導を通しての読解力の育成は、すべての学習活動の基盤として本校の特色ある教育活動として位置付けられ、朝読書、課題図書の設定、読書感想文コンクールの実施、区立図書館との連携等、生徒が自ら読書に親しもうとする態度をはぐくんでまいりました。

また、読んだ本について感想を書いたり、他者に推薦するための紹介文を書いたりするなど、自分の考えを要約して分かりやすく説明する活動を日常的に行い、各教科等においても実践することで思考力や表現力等の育成につなげています。多くの本と接することは多くの人々の考え方や価値観に触れることにもなり、道德教育の充実にもつながっています。

本研究の成果は、知識の習得に終始するのではなく、感じたことや考えたことを自由に仲間と表現し、学び合う中で、さらに理解を深めるようとする授業中の生徒の姿に表れております。

本校の研究実践の成果を各校において参考にされ、今後さらに授業改善が進み、学習指導要領の趣旨に沿った児童生徒の確かな学力の定着が一層図られることを期待しております。

結びに、本研究にかかわってくださった多くの先生方に心より感謝申し上げます。そして、日々の実践を大切に、生徒たちだけでなく、教師も生き生きと学べる学校づくりを目指して研究を積み重ねてこられた開進第一中学校 高畠 勇二 校長をはじめ、開進第一中学校の全教職員にお礼を申し上げてあいさついたします。